

ぐるんぱ mai



考えていますか？

防災・環境問題

今、私たちにできること



 最近、季節感がなくなってきたと思わない？いつまでも暑くて11月でも薄手の長袖で過ごせたよ。

 温暖化だもんね…冬はあったかくて嬉しいけど喜んでる場合じゃないのかも。危機感はあるけど、私が1人でがんばっても何も変わらないんじゃないかとも思うし…。

 でも何十年かに一度レベルの台風が毎年来てる。

 ほんとほんと。去年(2018年)の台風19号は怖かった…停電したし、飛来物が当たって車がへこんだよ。

 うちは0才の子がいて停電もしたから、停電なかった実家に帰ったよ。途中、信号は止まってるし、コンビニは閉まった。電柱は倒れて、道路をふさいでるし、ガソリンスタンドは長蛇の列！

 私も初めてみる光景だった…災害時、子どもがいると、こんなに不安が増えるの?!って思った。

 台風も来たけど、地震も怖いよね。南海トラフの巨大地震のこともよくテレビなんかでやってるけど本当にくるのかな？

 地震がくるかどうかはわからないけど、子どもがいるし備えがあった方が安心かな。

 確かにただ不安がっているだけじゃダメだよ。私も防災用品もう一度、見直してみよう。

 うん。防災用品や家の地震対策も必要だけど、避難する時の事など、子どもを守るためにもイメージしておかないといけないと思う。

 また考えよう!ってずっと後回しにしてしまってたけど、災害が起きてからでは遅いもんね。

 温暖化とか環境問題のこともそう。気にはなってるけど目をそらしてきたところがあって…詳しい人に話を聞いて考えてみたいな。

そこで、今回は「防災」「環境問題」をテーマにし、インタビューや体験談をまとめました。

子育て中に震災を経験したママに話を聞き、今から準備しておくべきことを教えてもらいました。

また、ビーチクリーンなどの環境問題に取り組むママ2人から、地球が直面している切実な現状を聞き、

今、私たちにできることは何だろう？ 何から始めていこう？ と話し合いました。

東日本大震災を経験した佐津さんにお話を伺いました。

震災を経て、今



Profile 佐津 薫さん Kaoru Satsu
12才男 10才女 2才女 子ども3人のママ

現在までの活動 随時、ボランティアスタッフ募集中/
✿マスカース 防災の意味でも身を守るためにも必要なマスクを手作りして販売。売り上げ金を福島県に寄付。
✿防災ママプロジェクト 子育て世代の防災を応援する「防災ピクニックハンドブック」の作成・配布。

✿運ぶ根だより 災害にどう立ち向かっていくか、共に考えたいという想いから発行。
✿くつろ木カフェ 同じように震災を体験した同士、溜め込んだ想いを吐き出しあえる場づくり。
など、今は休止中の活動もありますが、少しでも防災について考えるきっかけになってくれればという思いで、活動を続けてきました。

佐津さんと娘さん



2011年3月11日 普段から地震への備えをしていなかった

福島県郡山市の自宅にいる時に震度6強の地震が発生しました。その時は子どもたちと食事をしていました。テレビなどが自分のほうに倒れ、花瓶、食器棚などが散乱。身の危険を感じ、裸足で子どもを両脇に抱え外に飛び出しました。外では道路が陥没し下水管も破裂し、目の前の家の瓦が雪崩のように道路に落ちていました。そして避難所を探し歩く人たちであふれていました。



備蓄品を用意したり避難所チェックをしていなかったため、避難所までは車を使っているのか、子どもも連れていっているのかなど、わからないことが多かったので困惑していました。

知人のたすけ あの人がいなかったら、どうなっていたかわからない



夕方まで子どもを連れてウロウロとさまよっていました。そこへ偶然、知人が連絡をくれました。サークルで月3回ほど会う程度の顔見知りです。彼女の家も停電し、油やガラスが散乱している状態でした。それにも関わらず、土足で家に上がらせてくれ、備蓄品の食料を分けてくれたり、水の手配なども手伝ってくれました。また、和歌山への航空券を手配する時も、空港が人であふれかえり航空券が入り手困難な状態の中で、その知人が力を貸してくれ無事購入することができました。

和歌山で暮らすも、無力感を感じる日々 自分は何もできない...

実家の和歌山に母子避難しても、福島から出られない人のことを思うと無力感を感じていました。何かしたい気持ちがあっても何もできずに苦しい思いで過ごしてしま

た。余震と原発の不安のなか、仕事上の都合で残らなければならなかった夫、そこでそのまま生活せざるを得ない知人友人達…。そんな人達と会って話す度、さらに精神的に追い詰められていきました。



“勇気”を出して行動へ 行動への原動力となったのは、「子どもがいたこと」と「出会いがあったこと」

自分だけ帰る場所があって、でも現地では大変な思いをしている人たちがいる…。和歌山に来て平和な生活の中で、毎日のように流れる震災の報道を見ることもしんどくなって家に引きこもっていました。

しかし子どもをいつまでも家に閉じ込めておくわけにはいかず、ネットなどで調べたつどいの広場やサークルなどに出掛けるようになりました。そこで出会ったママ達のなかに理解してくれる人、関心を持ってくれる人がいるのだということが分かって、動き出すきっかけになりました。和歌山に母子で避難してきた人達とも出会えました。外に出ていくことで出会いがありました。勇気を出して話すことで、共感したり協力してくれる人を見つけました。そこでつながった人達とは今でもよい関係がずっと続いています。人に話すことって大事です。



現在気を付けていること 「折に触れ家族で話をする」「地域の人とつながっておく」

災害のニュースや、阪神淡路大震災、東日本大震災の特集の報道の際、防災の日、学校の避難訓練の時など、折に触れ防災グッズを見直したり、家族で話をするようにしています。

また、地域の人とつながっておくことは大切だと思

ます。でも人と話すのが苦手な人もいるだろうし、何かあった時のために頑張っつながっておかなければならないと考えるとしんどくなると思います。だから、普段

ちよつとした挨拶を交わす、話しやすい人と会話するなどしておけば良いのではないのでしょうか。



教えて佐津さん!

おすすめ防災用品

置き場 玄関や車など 家族それぞれが持てるよう小分けにする!

① ビニール袋 食事、トイレ、ゴミを入れる、何かを保存するなどにかく便利。大・小持っておくと良い。ゴミ袋など大サイズは穴をあければ雨具や防寒具に。汚れた場所にも行ける。裂けばヒモにもなる。



② 沸騰パック 発熱剤と水が反応し、約1分で水を100℃の湯に沸騰させられる。レトルトごはんやアルミ缶などをそのまま入れて温められる。

③ 500mlの水 命をつなぐのに必要な水。2ℓではなく500mlの水を小分けにリュックへ。

④ ラップ・アルミホイル 食器に敷いてお皿を汚さず食事したり、ケガをした箇所に巻くと防水にも役立つ。

⑤ 万能ツールナイフ ラップを巻けば、水で洗わずにリカえし使える。ハサミ、ナイフ、缶切りなど1つで何役もこなせる必需品。コンパクトなので、バッグやベルトにも下げて便利。



その他 ウエットティッシュやティッシュ、救急箱、常備薬、軍手、ちりとり、洗面道具、ミント系ガム、シリコン製折りたたみバケツ、ホイッスル、携帯できる調理器具、メガネやコンタクトのセット、冷えピタシートや熱さまシート、レインコート、茶がゆ缶、アルミシュラフなど

⑥ 家族写真 家族が離ればなれになり探す時、子どもが親を探せるように、家族のリュック、子どものポーチに入れておき写真で確認できる。



⑦ LEDライト付きラジオ 停電時のライトとして、情報収集するため。電池が不要な手回し充電式がオススメ。

⑧ マスク 粉塵や煙などから身を守る。ウイルス対策、女性は化粧が出来なかつたりするので隠すのにも役立つ。



⑨ 電池何でもOKライト 単1から単4まで、その時手元にあるどの電池でも、1本あれば対応可能な懐中電灯。



⑩ 字を書く紙・ペン(油性) 実際、震災時パパンと離れた状態で安否が心配な中、玄関に貼ってあった「無事だよ」の紙を見て安堵。避難所生活になった時も家族間の安否確認に使える。

⑪ 軽量の靴 動きやすく、軽くてヒモのない着脱しやすい靴。大きな地震、津波が来る前に走りやすい逃げやすい靴を身につけることは大切。



⑫ シガーソケット充電器 車内でスマホなどUSB機器が充電できる。※車が使えれば、エアコンが使えるし、テレビ・ラジオの現状確認もできる。ガソリンは日頃から7～8割入れている。

⑬ 三角巾 ケガをした時、携帯かばん、頭を洗えない時にバンダナとしてなど、使いみちが幅広い。

⑭ 簡易トイレ 新聞、ペットシートで作れる簡易トイレ。臭いを消すのに消臭スプレーや重曹もセットしておくのがオススメ。



⑮ ロープ(最低3m) 丈夫なもの、綿テープ幅1cmくらいはほしい。洗濯物干し、荷物のとりまとめなど使いみちはいろいろ。命綱にもなる。

⑯ 子どものおもちゃ 長引くかもしれない避難生活。その中で子どもが少しでも楽しく、ストレス軽く過ごせるように、好きなおもちゃを入れている。長く遊べるトランプやウノ、ぬりえなども。



⑰ 携帯おんぶひも 災害時、小さな子どもたちは怖くて歩けなくなったり、抱っこして～となりがち。少しでも早く避難できるように、ぜひリュックへ。成の日に使ったサラシがあれば、それでも代用できる。

⑱ 現金 スマホやカードなどが使えなくなるので、小銭や1000円札を用意しておくとう便利。



⑲ カワの長期保存パン 缶パンより食べやすくおいしい。賞味期限は3年。1袋に2本入りで435kcal。非常時の最低限必要エネルギーに近い食事量として食べられる。



子どもの未来のために



2019年9月10日に、加太海水浴場にビーチクリーンが行われました。この活動の主催者は、加藤理菜さんと堀切美央さん。保育園に通うお子さんを持つママです。私たちと同じママがなぜこんな活動を？ 2人にお話を聞いてみると、地球が直面している切実な事実が見えてきました。



ハリケーン・台風の猛威化

最近の台風、被害がすごくないですか？『経験したことのない』『過去最悪』が更新され続けています。アメリカでは7万人の町が壊滅状態になるほどのハリケーンも！



干ばつによる食糧危機

大地が乾燥し、植物が育たない地域が増えています。最悪数十年後には食べ物がなくなるかも…！人類が今までに経験したことがないレベルの食料危機がもう足元まできている、と国連が発表しました。



制御不可能な火災

乾燥と温度上昇により、勝手に(1)木や建物に火がつく地域が多発。また、森林火災も高温&乾燥のため消火が困難に。(この森林火災、生活を豊かにするため人の手でつけられた火です…)



氷が溶けて海面上昇

北極圏の氷が溶け、海拔が低い土地は沈み、住めなくなっています。このままだと、住むところなくなる難民が世界で数千万人にもなると言われています。

今、世界では…

これらの事象は全て、気温上昇によりもたらされているものです。



2019年7月23日に、BBC (英国放送協会) をはじめとする世界中のメディアで『気候変動/温暖化を人類にとって生存可能なレベルに抑えられるかどうかは、この18ヵ月にかかっている。』と報道されました。

今、地球の温度は上がり続けており、産業革命後1.1℃上昇しています。これが2℃まで上がってしまうと、どんどん温度が上がるのを人の手では止めることができなくなるそうです。9月23日の国連緊急サミットでは、少しでも被害の少ない1.5℃までで抑えようと77か国が合意しました。が！CO2排出量世界5位(こんなに面積が小さい国なのに5位!)の日本はというと…合意していません!(なお、排出量トップ2の中国とアメリカも…)パリ協定でも、日本は2030年までにCO2を26%削減するとしていますが、決して多い数字ではありません

堀切美央さん

加藤理菜さん



ん。また、石炭火力発電廃止にも消極的で、世界からバッシングを受けています。「2020年のうちに世界的にCO2を減らすアクションを始める必要がある」と、多くの科学者が言っています。国レベルで動かなければならず、そのためには、各国民のこの問題に関する認知度の向上と行動が必要不可欠です。(3月時点で、)あと10ヵ月のうちに…!

自分たちができることからやっていくしかない！加藤さんと堀切さんがそう感じ始めたころ、『気候保護のためのストライキ』を47都道府県で行おうとしていることを知り、「小さくてもできることをやろう！」と加太ビーチクリーンを企画したのでした。全ては保育園の玄関の立ち話から始まったこと。決して特別なことではありません。お話を聞く中で2人は、一番の問題は『無関心』。一人でも多くの人に知ってほしい、と話してくれました。



お話を聞いてみて…

今までも、環境問題についてなんとなく「最近異常気象多いし、なんかやばくない？」と感じていましたが、今回お話を聞いて、想像を絶する切実な状況にショックを受けました。しかし、「今世界で起きていることは、全て人災。自然に起きていることではなく、人のせいだ」ということを聞き、少し希望が持てました。大きなことはできないけれど、とにかく少しでも自分にできることをやろう！と強く感じました。



でも、私たちにできひこもってあひの…? **たくさんあります!**

色々教えていただきました! できそうなことを見つけてみてください!

其の一 /

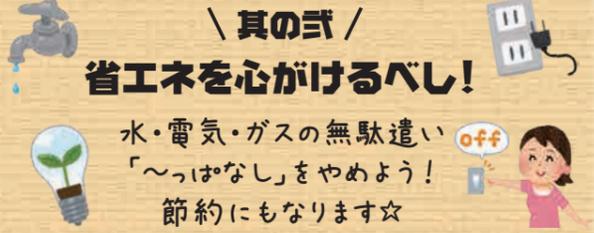
マイ100を持つべし!



マイバッグで脱レジ袋! マイ箸で脱割り箸! マイ水筒で脱ペットボトル! (マイバッグを持っているとポイントがもらえるお店もあって一石二鳥!)

其の二 /

省エネを心がけるべし!



水・電気・ガスの無駄遣い「〜はなし」をやめよう! 節約にもなります☆

其の三 /

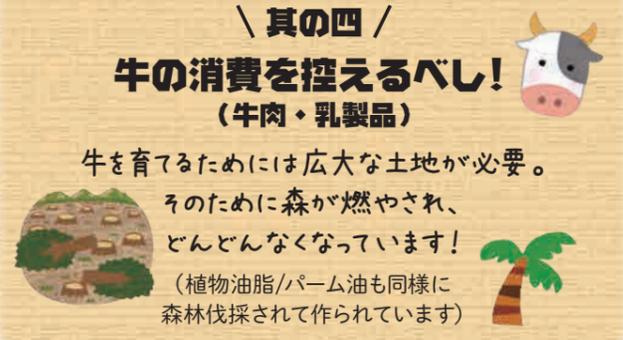
公共交通機関を利用すべし!



電車やバスに乗って出かけよう! 自転車や歩きもちろん◎! 車の場合、可能な限り乗り合わせて

其の四 /

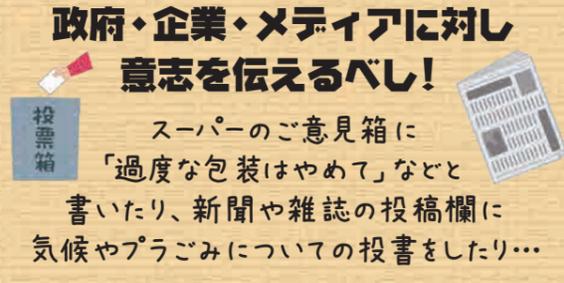
牛の消費を控えるべし!



牛を育てるためには広大な土地が必要。そのために森が燃やされ、どんどんなくなっています! (植物油脂/パーム油も同様に森林伐採されて作られています)

其の五 /

政府・企業・メディアに対し意志を伝えるべし!



スーパーのご意見箱に「過度な包装はやめて」などと書いたり、新聞や雑誌の投稿欄に気候やプラごみについての投書をしたり…

其の六 /

とにかくゴミを減らすべし!



袋に入っていないバラ売り野菜の購入 リサイクルBOXの活用 (イオンなど、リサイクルポイントがもらえるところも増えています!) **買うときに「本当に必要か?」と自分に問おう!**

ところで、みなさんの多くが、自動車保険や生命保険など、何らかの保険に入っていると思います。それは、できれば起きてほしくないけど起こる「かもしれない」から、ですよ。温暖化対策も同じです。もしかしたら50年後、100年後に何も起こらないかもしれない。でも、手遅れになった時に、やっぱりしておけばよかったと後悔しても遅いです。なので、今、できることをしておきませんか?『2100年』と言われるとなんだか先の数字に見えるけれど、その時自分たちの子どもは85歳前後、決して遠い未来ではありません。子どもたちに、どんな未来を渡したいですか?



このエコ商品 使ってみました

使い捨てしないラップ みつろうラップ

みつろうラップとは?
ミツパチの葉から採れるみつろうを布に染み込ませて作るラップ。

アイロンがあれば自分でも簡単に作れるよ

布遣いも楽しいよ

おかずのお皿を包み冷蔵庫へ!

冷蔵庫の中がカラフルよ

おにぎりや使いかけの野菜にも!

●はちみつアレルギーの方や1歳未満の乳児は使用NG! ●使用后、水洗いして自然乾燥。汚れが気になる時は、薄めた食器用洗剤を使い、やさしく洗う ●熱に弱いため高温を避け保管/レンジ・熱湯洗い不可(生肉・生魚は包まない方がいい) ●酸に弱い(酸味のある果物などは包めない) ●樹脂を混ぜたみつろうラップの方が粘着性が高まる

- ✓ 繰り返し使えるので節約&エコ
- ✓ 冷やすと硬く、常温で柔らかくなる
- ✓ 手のぬくもりで、どんな形にもフィット!
- ✓ 抗菌・保湿効果あり、食品鮮度を保てる
- ✓ 適度な通気性があり、食材の呼吸を妨げずに自然な状態で保存できる
- ✓ 水洗い後の乾きが早く、お手入れ簡単!

ジュートたわし

洗剤がいらない

ジュートとは?
主に米袋として使われる素材。少ない養分で非常に成長が早く、CO2の吸収力が普通の水に比べて5~6倍ある

手荒れも減ったよ

ひどい油污れ、まな板、生肉を扱った時だけ洗剤を使っています!

お湯で洗うポイントをよく着ろ!

洗剤代も浮いて家計にも優しい!

最初は硬さが気になったけど使ってるうちに馴染みましたよ

洗剤なし!

油物と分けて使うもよし!

石けんをつけてもよし!

子どもの食器に大人と同じ洗剤を使いたくないので、これにしました!

使いかた

- 1 少しのぬるま湯でこする
- 2 キレイな物→油物の順に洗う
- 3 水洗い後、よくもみ洗い
- 4 使用後はよく伸ばしフックにかけて乾かす

✓ 焼却時に有害物質が出ず、完全分解で土に還る たくたになったら庭に埋めておけばOK!

✓ お湯で洗うだけで、食器がピカピカ!

✓ 自然のものなので、スポンジのようにマイクロプラスチック化しない!

災害を想定し作ってみました

ヒートパック (沸騰パック)

水だけで加熱できる

子どもも食べてくれました!

加熱剤 5個入りで約1000円

✓ 水だけで加熱できるのが便利

✓ ミルクを温めるのにも使える

✓ 災害時、温かい物を食べられると安心

具材にお湯をかけるだけで作れて簡単!

✓ 災害時、温かい物を食べられると安心

具材にお湯を入れ 即席スープ

お子さんの好きな味で!

紙コップがない時は.../ 新聞紙をコップのように折りますよ

使いかた

- 1 加熱袋の中に、発熱剤をセット
- 2 温めたい物を発熱剤の上に置き、水を入れる
- 3 高温の蒸気が袋の中に充滿し、15~20分くらいで中にあるものを温められる

●加熱剤の使用は1回限り ●加熱用に温めた水自体は飲めない ●使用する水は水道水や井戸水、市販の水、川や池の水、雨水でもOK(ただし、海水はNG)

最後に新聞紙を折って完成! コップやお皿として使えますよ

新聞紙を三角形に折り、いったん開く

三角形の折り目の端に合わせて折る

開いた三角形を戻して折る

★同士を合わせて折る

反対側も同じように折る

上の三角形の部分折る

反対側も同じように折る

上部を広げ形を整えできあがり!

尾西のわかめごはん アルファ米

防災フェスでもらった非常食を食べましたよ

優しいお味よ

分量通りのお湯だと小さい子どもには固めのお湯を多めにするといいかも!

✓ お湯または水を入れるだけで戻せる

✓ スプーン付きだから、どこでも食べられる

✓ 賞味期限は常温で5年

✓ 12種類の味があるので好みの味で!

●ご飯はお湯15分/水60分、おかゆは水70分でOK。湯量で柔らかさを調整 ●でき上がりは、お茶碗軽く2杯、260g ●100%国産米を使用 ●脱酸素剤の取り出しを忘れずに!

環境のために始めたこと。

みんなで情報交換

NO PLASTIC

ビニール袋を使わない

- 常温置き物は、レンジ蓋をかぶせラップ代わり。何種類かあると便利。
- 冷蔵庫保存の物は、ガラス容器やタッパーに移し替え。ガラスは、汚れも取れやすい。
- ゴミ箱内側のビニール袋を新聞紙に。新聞紙ゴミ箱を作ってストック。生ゴミ入れは食パンの袋も使用。
- いらないチラシは箱に折りストック。生ゴミを捨てる。三角コーナーネットの使用率が激減!
- エコバッグ使用率が8割くらいにまで上がった!
- エコバッグを増やした。よく忘れるので、車やかばんなどそれぞれに入れておくことにした。
- 行事で靴入れに使っていた使い捨てのビニール袋をやめて、布など洗える素材にした。

手帳なものもありません!

リサイクルボックスの活用

- 面倒で捨てていたプラトレイをスーパーの回収ボックスへ。
- 紙類は市内に点在する“紙の杜”へ。ポイントをコツコツ貯めマツゲンなどで使えるお買い物券をGET!
- 牛乳パックとペットボトルをイオンでリサイクル。親子で投入を楽しみ、WAONポイントも貯められる。
- 服はリサイクルしてくれるお店へ! ユニクロも回収している。H&Mは服以外に、布はなんでも引き取ってくれ、割引券もくれるのでお得!

食器洗いに洗剤やスポンジを使わない

- 洗剤に含まれるリンや工場排水が琵琶湖に流れこみ環境問題が深刻化。琵琶湖を守るため住民運動の一環として生まれた「びわこフキン」。洗剤無しで食器を洗えるスグレモノ。使ってみると普通の汚れならお湯だけで落ちギトギトの油物を洗う時は少し洗剤を足してピカピカに! ふきんなのでスポンジカスのように下水に流れこみ海を汚す心配もない。

RECYCLE

REDUCE

- ステンレスのストローを使用。鉄の臭いもせず、普通に使用できた。長さや形も様々。
- 何でもかんでもおしりふきで拭く量を減らしたい...。おしぼり持参を心がけ中。

その他

- ペットボトルや牛乳パックなどでおもちゃを手作り。
- スーパーで割り箸などを断る。
- 電気を使わない時はコンセントから抜く。

他に始めてみたこと、やっていることを編集委員のみんなに聞いてみました!

「冷蔵庫地震対策ストッパー」を子どもと設置しました。

「防災」の話を聞く中で、予め備えられる事はしっかりしたいと思い、冷蔵庫の地震対策をしました。「地震の国に生まれた子どもには、しっかり教えてあげてほしい。家具の固定も、子どもと一緒にしてほしい。親とした事は、子どもは一生忘れない。大人になった時に自分の家庭を守るため、同じ事をやろうと思うから。」という話を防災セミナーで聞きました。簡単な作業ですが私一人でせず、パパと長男(小2)で作業を開始!

長男は興味しんしんでパパの様子を見て、出来上がった状態も確認。「どうかな? 効き目あるのかな? ドキドキする」と言う長男に「地震が起きてみないと分からないけど、やらないよりはきっと時間稼げになるよね。その間に冷蔵庫の前から逃げようね」と話をしました。

子どもも自分の目で確認!

防災や環境について調べると全く食べませんでした。非常用でない粉末のミルクやお菓子、カップ麺などは、賞味期限が1年未満の物が多いの。体験してみても感じたこと。取り入れ、出来ることから始めていきたいです。自分の子どもやその先の子どもの普通暮らしに暮らすような世の中にしていくために...

2歳の息子と試食してみる

環境の事を考える、と

防災センターに行ってきました

防災 Disaster defense

和歌山市消防局防災学習センターで、「災害体験シアター」「煙避難体験」「初期消火体験」をしました！大人だけでなく子ども達も真剣に…。他にも防災グッズの展示やハザードマップ等、たくさんのブースがありました。



消火器が重い…！これは画面に向かって消火器のセンサーを当てるものでした。意外に難しく、もし本当の火事なら冷静に行動できるかな…

避難の様子をモニターでチェック！



オススメ

こんなアプリがあるよ！
和歌山県防災ナビ



和歌山県が作った、大規模災害時の的確な避難を促進するための防災ポータルアプリです。避難先検索、防災情報のプッシュ通知、家族などが避難した場所の確認、避難トレーニングなどの機能がすべて無料で使えます！（通信料はかかります）

子どもの感想



消火器は思ったより重かったです。火を消すのも大変でした。煙の部屋は怖くて入れなかったけど、低くしゃがんで口元を押さえて逃げることを教えてもらいました。

防災学習センターは、個人で見学可能！申込不要・無料 和歌山市八番丁12（お城近くの消防署内） TEL.073-423-0119 月曜休館

おすすめの本

お子さんと読んでみてください！



ゾウの森とポテトチップス

写真・文：横塚 眞己人

ポテトチップスや洗剤がゾウたちを危険な目に…。熱帯雨林の森が減っているボルネオ島と、私たちの暮らしのつながりを知る写真絵本。



いろのかげらのしま

作・絵：イ・ミョンエ

海鳥とたくさんの仲間たちが住む島は色とりどり…。海を漂うプラゴミ問題を鳥目線で描いた一冊。



買い物は投票なんだ

作：藤原ひろのぶ 絵：ほう
毎日の買い物は社会とつながっている！子どもたちの未来を少しでもよくするためにできることをEARTHおじさんがナビゲート。



地球の秘密

作・絵：坪田 愛華

「私人ぐらいという考えはやめようと思えます。それを世界中の人がすれば、一発で地球はダメになると思えます。」12歳の少女の言葉が心に刺さります。



あっ！じしん

作：金子章
絵：鈴木 まもる

地震のイメージを持つか、持たないか…。いざ地震が起こったときの行動に、その差がはっきり出ます。絵を見て話しながら子どもたちと一緒に地震のイメージをし、楽しく防災について考える絵本。



ぼくらの災害サバイバルBOOK

監修：国崎 信江

簡単なマンガがあり、クイズ形式で防災について楽しく学べる。親子で一緒にクイズに答えながら防災について話すきっかけになる。



編集後記



子どもを産んで約一週間、震度3ほどの地震がありました。実家に帰省中で、新生児のわが子をやっとベッドに寝かしつけ、ちょうどトイレに入ったところでした。揺れが来た時、「赤ちゃん抱っこして！」と、たまたま実家にいた私の妹に、トイレから叫んだのを覚えています。まだ名前も決まっていなかったときでした。その

時からちょっとしたことで不安な気持ちになり眠れなくなることもありました。

今振り返ると、産後でいろいろ不安定になっていた時期だったのかもしれませんが、今も地震や災害のことを考えると自分が子どもを守れるのかおそろしくなることもあります。今回のテーマの「防災」「環境問題」は、身近で大切な問題だけど、なんとなくこわいという思いもあり向き合わずに目をそむけていました。でも今回取材を進める中で、同じ子を持つ親として同じ目線で語れる仲間に、自分の不安を共感してもらえたことはうれしかったし、向き合ういいきっかけになりました。

お母さんってみんな子どものために一生懸命だし、子どもを守る責任を一手に担ってしまいがちですが、加藤さんや堀切さんのように、まず自分が楽しめる方法で子どもの未来のためにできる行動をし、佐津さんがおっしゃるように、まわりの人たちとつながっていくことができればいいと思います。私たち親が「大変だったの」「たすけて」と言えることが、子どもも人を信頼することにつながるはず。編集メンバーの「環境のためにやってみた」行動力には圧巻ですが(笑)、行動を起こすことでなんかまず自分が満たされるんですね。自分も元気になりそれが周りの人に広がり、子どもの未来につながる。そんな輪がぐるんぱから広がっていくと素敵だなと思います。(山本)

編集委員 井関はるか 大植祥子 柏木めぐみ 高稚英 田口美紀 田中麻紀 平居祐美 松井友美子 松田友佳里 矢田和紗 山浦理恵 山本友紀子